



Stronger than yesterday, Farther than today

SUSTAINABLEME

サービス紹介資料

Company data 202501 version

SUBSIDY PROJECT / AWARD / ACCELERATOR 2021-2024



— vision —

Unlock the potential.

すべての人と組織が秘めている可能性を最大限に引き出し、持続的な成長を実現する社会へ。

— mission —

Stronger than yesterday, farther than today.

戦略的ウェルネス経営を通じて、企業と従業員がともに進化し続ける仕組みを創造する。

会社概要

企業名	株式会社SUSTAINABLEME (英語表記：SUSTAINABLEME Co., Ltd.)
設立・創業	設立：2021年1月15日 創業：2021年8月20日
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・クラウドシステム開発および提供事業・健康経営支援および健康管理システムの開発・販売・運営業・ESG情報開示およびサステナビリティ関連コンサルティング事業・B2Bマーケットプレイスの運営および関連サービス提供事業・デジタルプラットフォームを活用したAI・データ分析サービスの提供事業・人材育成および教育プログラムの企画・運営事業・イベント企画およびセミナー開催事業・前各号に付帯する一切の事業
本店所在地	京都府京都市
代表者	後藤 友美



サービス紹介

SERVICE

企業の健康経営を推進するために、「性ホルモンチェック」と「ワークパフォーマンスSURVEY（※ WP_SURVEY）」の2つの柱を提供しています。それぞれが身体面・業務面を可視化する仕組みとなっており、個人へのフィードバックと組織分析を通じて、組織そして従業員一人ひとりのコンディションやパフォーマンス向上をサポートします。

さらに、当社では健康経営優良法人取得フルサポート支援を行う「健康経営トータルコンサルティング」や、健康経営優良法人申請に必要なセミナー提供する「健康経営必須要件マスターセミナー」など、企業の目的や規模に合わせた支援メニューを幅広く取りそろえています。



サービス導入実績一例

NEC
NECソリューションイノベータ

TEIJIN
帝人フロンティア株式会社

Niterra
日本特殊陶業

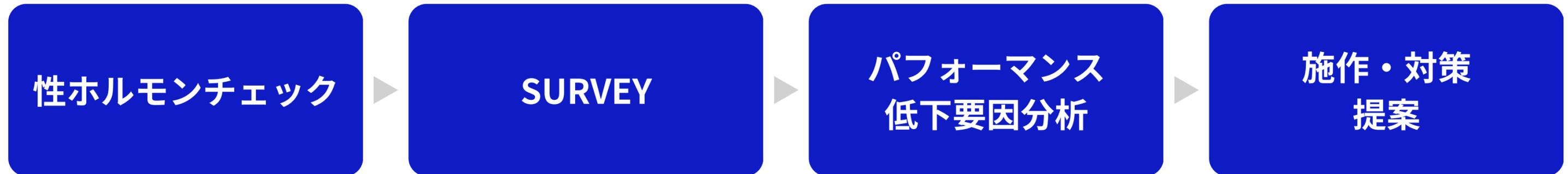
ROHTO

鳥取県

京都府
KYOTO

大企業～中小企業まで様々な事業者様に導入いただいております

性ホルモンチェック × WP_SURVEY で目指すパフォーマンス向上



当社の「性ホルモンチェック」は、すべてのプランにWP_SURVEYが含まれています。身体面（性ホルモン）とパフォーマンス面（WP_SURVEY）を同時に可視化することで、従業員一人ひとりのコンディションとパフォーマンス低下の要因を総合的に把握し、早期改善につながられます。さらに、WP_SURVEYのみを単発で導入することも可能です。以下のように、お客様のニーズや予算に応じて柔軟に選択いただけます。

性ホルモンチェック（WP_SURVEY込み）

【身体面 × 業務面】の2軸で総合分析
健康診断ではカバーしにくいホルモンバランスの乱れや、更年期・PMSなどのリスクを早期発見し、仕事への影響を可視化。
組織的なエンゲージメントやストレス度合いも同時に測定。

WP_SURVEY（単発）

フィジカル（身体面）やメンタルヘルス、エンゲージメントといった多角的な視点から労働パフォーマンス度を可視化します。
サーベイ結果は健康経営施策を講じる際の課題把握や計画策定にも活用いただけます。
性ホルモンチェックは行わず、まずは業務面の課題把握から着手したい企業様向け。

性ホルモンチェック

性ホルモンチェックは、女性・男性を問わず働くすべての人に発生しうる「ホルモンバランスの乱れ」を客観的に測定し、体調不良やパフォーマンス低下の原因を早期に把握するための検査です。

サーベイと組み合わせることで、パフォーマンス低下の原因を迅速に突き止め、生産性向上策を的確に打ち出せます。

男性の場合



- 男性更年期（LOH症候群）と呼ばれる症状（疲労感、性欲減退、集中力の低下など）にかかわるテストステロン値を把握
- 過剰なストレスや生活リズムの乱れがホルモン低下を招き、仕事のモチベーションや体力を損なうおそれがある

女性の場合



- 更年期の症状（のぼせ、発汗、イライラ、うつ傾向など）を引き起こすプロゲステロンの減少を可視化
- 若い世代でも、生活習慣やストレスがもとでホルモンバランスが乱れ、疲れや睡眠不足、PMS（月経前症候群）の悪化につながる

導入による3つのメリット

離職防止・生産性向上

更年期やPMS、ストレス過多等のホルモンバランスの乱れを早期に発見し従業員の体調不良による休職や離職リスクを低減。一人ひとりが本来の力を発揮しやすい職場環境整備に貢献。

人材定着・採用ブランディング

「健康診断では測れない領域」のケアに取り組む企業姿勢をアピールでき、従業員・求職者からの評価を高めます。優秀な人材の確保・定着にも効果を発揮。

健康経営優良法人取得を強力に後押し

ホルモン検査+サーベイ結果を組み合わせたデータは、健康経営の取り組みを客観的に示す有力なエビデンスとなり、認定取得を後押しします。社内外に向け自社の取り組みをPRします。



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
ホワイト500



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
ブライト500

サービス導入フロー

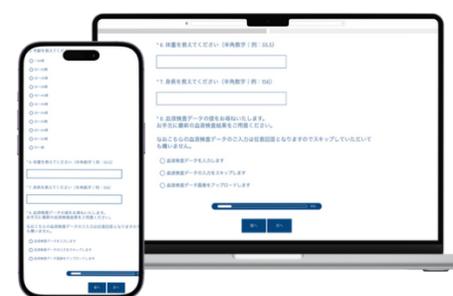
検査キット受け取り



毛髪をカットし郵送



SURVEY実施



結果お返し



1. 検査キット受け取り

お申し込み後、ご指定の場所へ検査キットをお送りいたします。キットには採取手順や必要書類が同梱されていますので、手順に沿ってご準備ください。

2. 毛髪をカットし郵送

性ホルモンチェック用の毛髪サンプルをカットし、同封されている返信用封筒に入れて返送します。

手軽に採取できるため、特別な医療機関等へ行く必要はありません。

3. SURVEY実施

検査と並行して、従業員の方々にWP_SURVEY（オンライン）を実施していただきます。フィジカルやメンタルヘルスの観点から労働パフォーマンス度を多角的に可視化します。

4. 結果お返し

個人の検査結果（ホルモンバランス）とSURVEY結果をフィードバックシートとしてお返しします。

組織全体の傾向分析レポートもあわせてご提供し、具体的な改善策やアクションプランを検討できるようサポートします。

WP_SURVEY | ワークパフォーマンスサーベイ

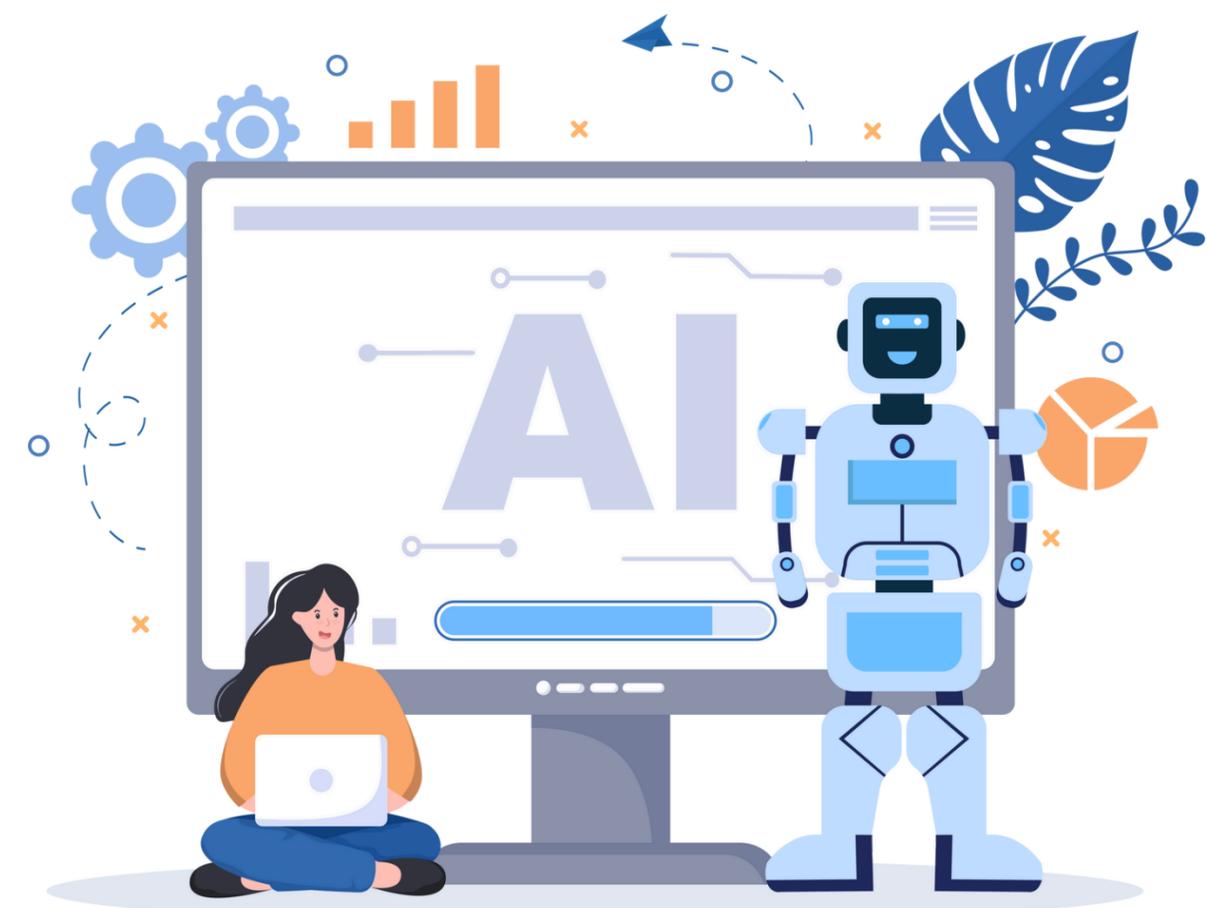
当社のワークパフォーマンスSURVEYは、回答していただいたデータをAIが分析することで、個人・組織の健康課題やパフォーマンス状況をより正確かつ多角的に可視化できるのが大きな特徴です。

従来の単純集計やクロス分析を超え、データの背後に潜む相関関係やトレンドを発見しやすくなるため、従業員一人ひとりのコンディションから組織全体の改善余地まで、幅広い視点で最適なアクションプランを検討できるようになります。

ストレス度合いやエンゲージメントの測定だけでなく、フィジカル（身体面）やメンタルヘルス、職場環境などの複数要因をAIが総合的に評価

可視化されたデータをもとに、早期リカバリーや生産性向上、離職防止につながる改善策を個人・組織両面からAIが総合的に立案

SURVEYの結果は、個人向けにはセルフケアや生活習慣見直しのヒントを、組織向けには健康経営施策や職場環境改善のロードマップを提示するレポートとして返却いたします。さらに、必要に応じて専門家・コンサルタントとの連携を行い、具体的なフォローアップまで一括サポートいたします。



WP_スコアの主な指標

Presenteeism (プレゼンティーズム)

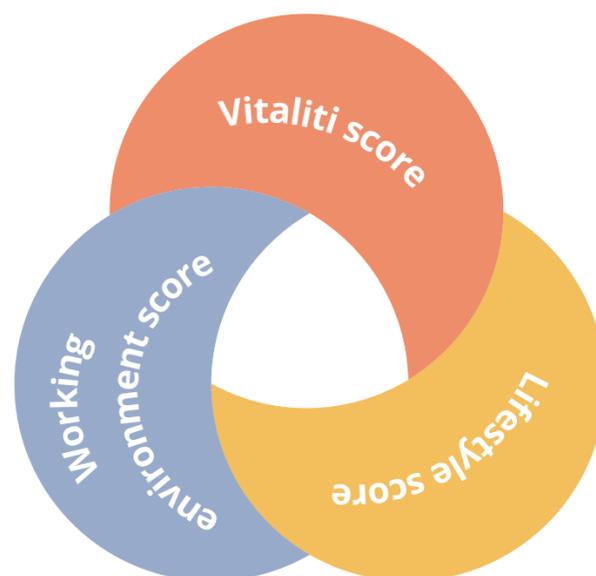
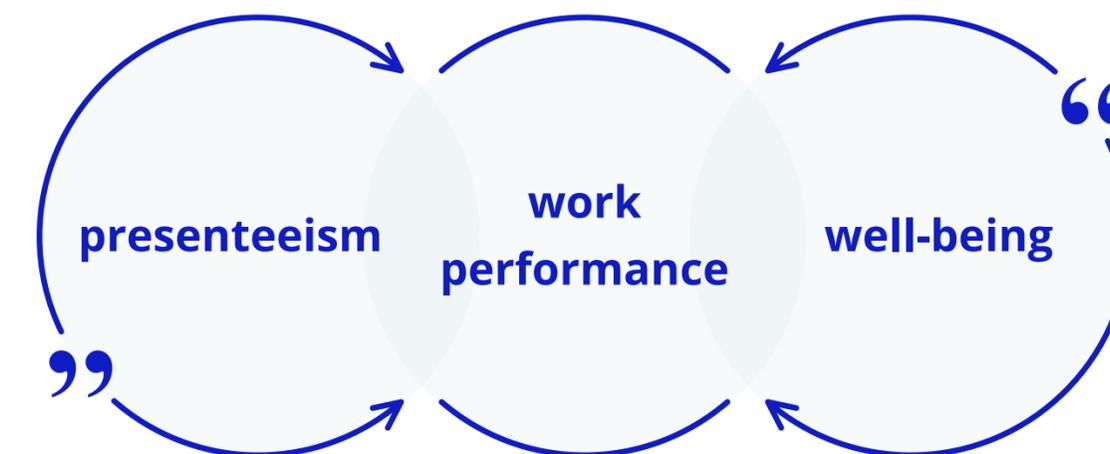
体調不良や疲労感がある中でも出勤しているが、十分に能力を発揮できていない度合い。

Well-being score (心身の健康度・幸福度)

心と体の健康、生活全般の満足度や心理的安定度を総合的に示す指標。

work performance score

詳細項目ごとに、心身の状況や生活習慣、職場環境といった要因をスコア化し、課題をピンポイントで抽出。



work performance scoreは、

- vitality score (フィジカル・メンタルヘルス・その他不調指数)
- lifestyle score (生活習慣)
- Working environment score (労働環境)

の3要素から構成されています。

- 本指標は、国内外の医学的ガイドラインを参考にしながら、株式会社SUSTAINABLEMEが独自に作成した評価基準です。
- あくまでも相対的な評価指標であり、医学的診断や治療を代替するものではありません。
- 体調不良や異常を感じた際は、速やかに医療機関を受診してください。

導入による3つのメリット

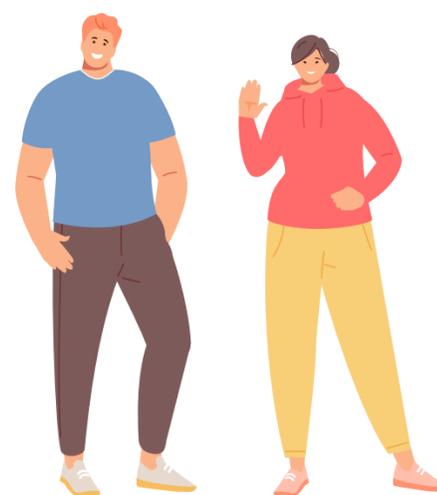
迅速な課題把握

労働パフォーマンス低下の主な原因を数字で把握し、健康経営施策の優先度を最適化できます。部門部署間を横断的に分析し要因特定を行います。



従業員のセルフマネジメント向上

個人が自分のスコアやプレゼンティーズム度合いを客観視できるため、適切な休養・相談・生活習慣改善につなげやすくなります。



組織としての健康経営戦略

部署単位や全社単位の結果を比較検討することで、経営や人事が具体的なアクションプランを立案し、生産性向上・離職防止に貢献します。



サービス導入フロー

SURVEY実施



スコア算出



結果レポート返却



改善アクション



1. オンラインアンケートへの回答

従業員の皆さまが、生活習慣、ストレス度合い、職場環境への満足度など、複数項目の質問に回答します。回答は匿名化され、個人情報保護を徹底しています。

2. WPスコアの算出

回答データをもとに、「Vitality」「Lifestyle」「Environment」などの要素を数値化し、仕事への発揮度合いを総合的に評価した Work Performance Score を算出します。さらに、プレゼンティーズム（生産性損失の度合い）や well-being（心身の健康度）などもあわせて可視化されます。

3. 結果レポートの作成・返却

個人向けシート: ご本人のスコアや簡易コメントが載ったレポートを受け取り、体調や仕事環境の見直しに活用いただけます。

組織向けレポート: 部署別や年代別等の集計データをもとに、経営者や人事担当者が社内の健康課題やパフォーマンス低下要因を俯瞰し改善策を検討しやすくなります。

4. 改善アクション・フォローアップ

結果を踏まえ、セルフケアや職場環境整備などの具体的アクションを検討します。必要に応じて、専門家や産業医、健康経営コンサルの伴走サポートも併せて受けることで、早期リカバリーや生産性向上につなげやすくなります。

企業様向けレポートサンプル

「組織分析レポート」は、従業員一人ひとりの健康・生活習慣・仕事満足度など多角的なデータを集約・分析し、組織全体のパフォーマンスや課題を可視化する新しいアプローチです。個々の健康状態（フィジカル・メンタルヘルス・性ホルモンバランスなど）だけでなく、ワークエンゲージメントや労働環境満足度、プレゼンティーズムの水準を数値化することで、「どの部署・年代・役職で、どのようなリスクや強みが潜在しているのか」がひと目でわかります。

このレポートを活用することで、企業の人事や産業保健スタッフは、離職や生産性低下の要因となり得る健康リスク・業務負荷・環境要因を早期に発見し、対策を立案しやすくなります。たとえば、貧血や運動不足が原因で集中力が落ちている部署には健康施策を重点導入し、メンタル面で課題の多いチームには産業医やカウンセリングのサポート強化を行うといった具体的なアクションが可能です。また、役職や年代別の更年期ケア、男女問わずホルモンバランスに着目した施策を検討することで、よりきめ細やかな健康経営を推進できます。

組織全体での傾向と個人の課題を同時に把握できる「組織分析レポート」は、単なる健康診断やストレスチェックを超えた“データドリブンな健康経営”を実現するカギとなるでしょう。現場での対策から経営陣の戦略判断まで、幅広くご活用いただけるレポートとして、多くの企業・団体様に導入が進んでいます。よりいきいきと働ける環境づくりと、生産性向上を同時に目指す貴社にとって、ぜひご検討いただきたいツールです。

企業様向けレポート | 分析の目的と全体方針

1. 目的の明確化

- 組織として従業員の健康状態・仕事のパフォーマンスを可視化し、離職や生産性低下のリスクを早期に把握する。
- 個人ごとの結果を集約し、共通する課題（運動不足やメンタル不調など）を抽出し、施策を立案する。

2. 分析の視点

- 個人の健康状態（BMI・血液検査・Vitaliti scoreなど）と、仕事との関連（work Lifestyle score、プレゼンティーズム）の掛け合わせ。
- 年代・役職・部署別の比較により、どの層や部署で特に課題が顕在化しているかを見極める。
- 性ホルモンや更年期指数の導入による女性特有の健康課題、あるいは男性更年期の潜在的リスクも踏まえた全方位的な分析。

企業様向けレポート | 分析評価レポートに掲載する内容

概要サマリー

サーベイ実施状況：

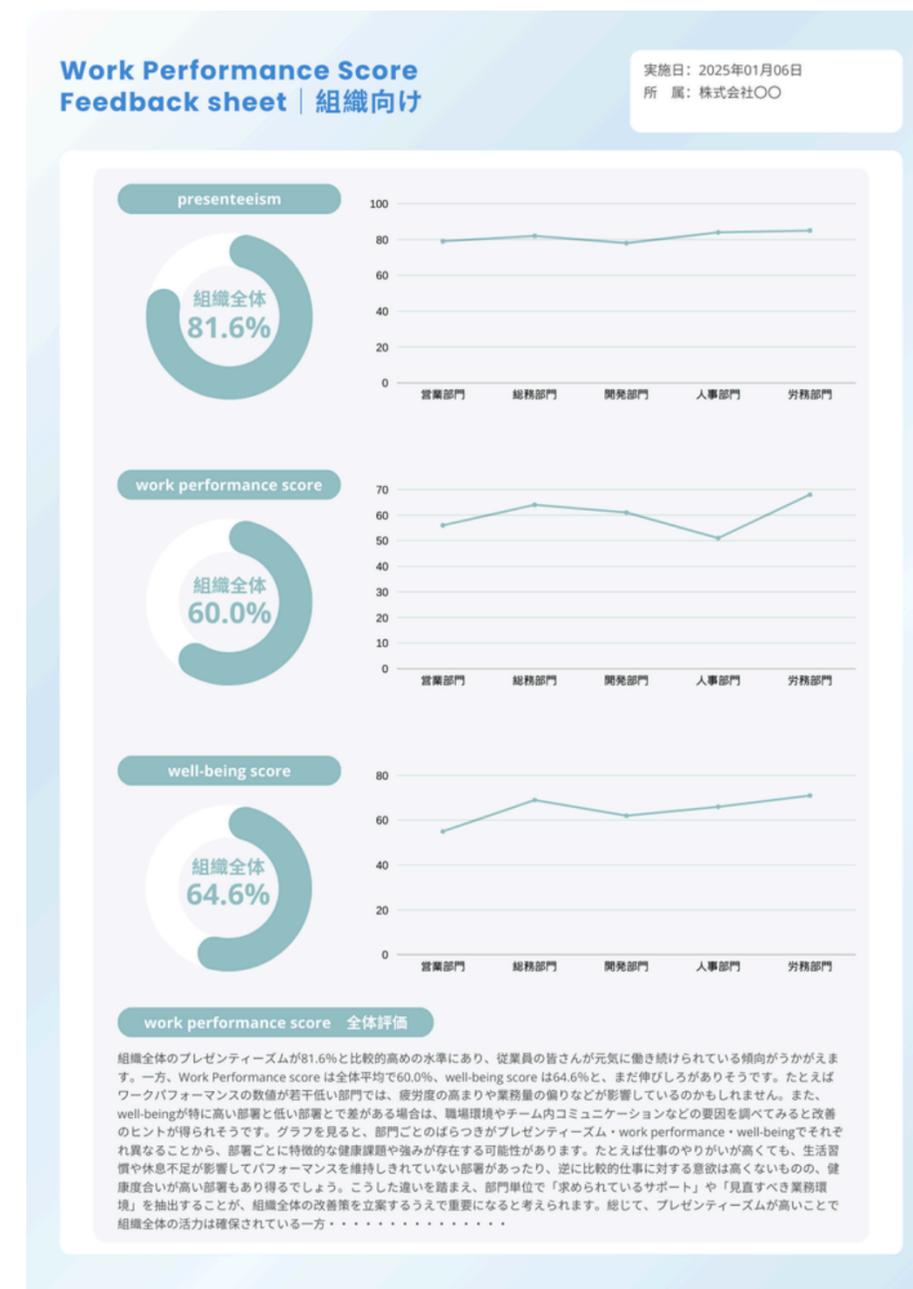
回答率や対象人数、部署分布などの基本情報。

全体平均スコア：

work performance score、Vitaliti score、Lifestyle score、well-being、プレゼンティーズムなどの平均値と標準偏差。

主な特徴：

たとえば「プレゼンティーズムが高い部署は運動習慣が不足している」「女性の更年期世代でメンタルヘルスの課題が多い」など、目立つ傾向を記載する。



企業様向けレポート | 分析評価レポートに掲載する内容

詳細分析セクション

a. 基本情報 & 血液検査データの集計

- BMIカテゴリ（低体重／標準／肥満 など）での人数比率。
- 血液検査の指標（貧血、コレステロール、糖代謝など）の平均値・中央値・上限下限。
- 既往歴や服薬状況の有無、該当人数や比率。

b. Vitality score（フィジカル・メンタルヘルス・性ホルモン）

- 部門・年代・性別別の平均スコア。たとえば、管理職層が疲労カテゴリの数値を下げている／若年層はメンタルヘルスが低め など。
- 性ホルモン値・更年期指数の分布：女性の場合はプロゲステロン値や更年期指数がどの層で高いか、男性更年期指数はどうか。

c. Lifestyle score（飲酒・喫煙・食事・運動・休息・睡眠）

- 項目別の組織分布：運動不足が特に顕著な部署や、食事バランスが崩れがちな年代などを可視化する。
- リスク度合い別（0～20% ととても悪い習慣 など）でどれくらいの従業員が該当するか。

d. work Lifestyle score（ワークエンゲージメント・労働環境満足度）

- 組織文化やサポート体制の満足度を数値化し、離職リスクや職場ストレスの予測と関連づける。
- 部署・役職別の偏りを把握し、労務管理や組織開発のヒントを得る。

e. well-being

- 「身体面・精神面・社会的つながり」への満足度合いをスコア化し、職場環境や健康施策との関連を検討する。

f. プレゼンティーズム

- 平均値や部署ごとの損失割合を算出し、平均以上に損失が出ている部署への対策や、具体的原因の深掘りを行う。

従業員様向けレポートサンプル

従業員向けフィードバックシートには、以下のような情報やコメントが書かれています。

1. 健康や体調の状態

血液検査や生活習慣アンケートなどの情報を基に、現在の身体面での気づきや注意点をわかりやすくまとめています。たとえば、運動不足や栄養バランスの偏りがあるとすれば、その度合いやリスクが客観的に示されます。

2. 仕事に対するパフォーマンスやモチベーション

ワークエンゲージメントや労働環境満足度などから、仕事への意欲や働きやすさの実感について分析し、そこから見えてくる強みや課題を簡潔にお伝えします。たとえば、やりがいをしっかり感じているのか、職場環境にストレスを抱えているのかなどがわかります。

3. メンタル面やホルモンバランスなどの個人特性

性ホルモンの乱れや更年期指数など、普段なかなか意識しづらい項目が導入されている点が特徴です。これにより、疲れやイライラなど、体調変化の原因をより具体的につかみやすくなります。

4. 総合的なアドバイス（タスクリストやセルフケア案など）

分析結果を踏まえて、日常生活における運動の取り入れ方、休憩の取り方、栄養バランスの注意点など、個人向けに合わせたヒントや提案が掲載されることがあります。大きく生活を変えるのではなく、「今の状態に合わせた無理のない改善策」を重視しています。

あなたのウェルネスを見える化 早期リカバリでパフォーマンスを最大化!

Work Performance Score Feedback sheet

こちらのfeedback sheetは下記対象者の情報です

お名前: 京都花子様 実施日: 20xx年xx月xx日
性別: 女性 所属: 株式会社〇〇
年齢: 25~29歳



【本指標 (Work Performance Score) について】

- 本指標は、国内外の医学的ガイドラインを参考にしながら、株式会社SUSTAINABLEMEが独自に作成した評価基準です。
- あくまでも相対的な評価指標であり、医学的診断や治療を代替するものではありません。
- 体調不良や異常を感じた際は、速やかに医療機関を受診してください。

【注意事項 (Disclaimer)】

- スコアの結果をもって特定の疾病を診断・否定するものではありません。
- 当社独自の基準で算出した評価結果ですので、あくまで健康管理・ウェルネス向上の一助としてご利用ください。
- 体調に不安がある場合は、必ず医療機関にご相談ください。

work performance scoreとは

「work performance score」は、みなさんが仕事で発揮できる力を客観的に数値で見える化する仕組みです。



といった、仕事のパフォーマンスに影響を与える複数の要素を合わせて点数化します。このスコアを見ることで、「最近疲れがたまってきたかな?」、「職場の雰囲気や仕事量がパフォーマンスに影響してない?」、「生活習慣が乱れていない?」といった原因に気づきやすくなり、対策を立てやすくなるのが特徴です。みなさん一人ひとりが、自分の健康管理や職場環境づくりを見直すきっかけになり、チーム全体としてのパフォーマンスも上がっていくように活用していきます。

従業員様向けレポート活用方法

1. 自分の健康状態を知る

血液検査や性ホルモン検査結果を含めたデータから、普段気づきにくい不調や原因を客観的に把握できます。食事・睡眠・運動など、生活習慣の見直しの参考にしてください。

2. 必要なサポートを選ぶ

結果をもとに、「もう少し栄養や運動に気を配ろう」「産業保健スタッフや上司に相談しよう」など、最適なりソースを活用しやすくなります。体調面やホルモンバランスが原因と思われる不調も、早めに対策が可能です。

3. より良い働き方を考える

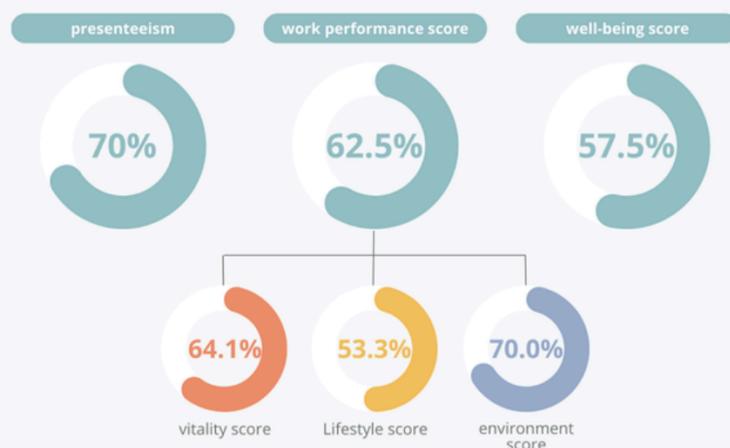
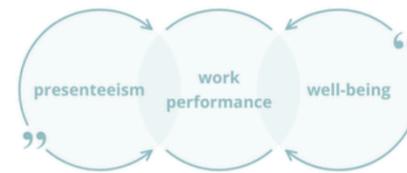
ワークエンゲージメントやプレゼンティーズムの情報から、「どうすれば生産性や集中力を高められるか」を再検討できます。職場環境に気になる点があれば、遠慮なく共有して、チームで改善を図るきっかけにしてください。

Work Performance Score Feedback sheet

お名前: テスト花子様 実施日: 2025年01月06日
性別: 女性 所属: 株式会社〇〇
年齢: 40~44歳

Work Performance score (仕事パフォーマンスにおける心身の影響)・プレゼンティーズム (生産性損失の低さ)・well-being (総合的な幸福感) の3つは、互いに大きく影響し合う関係にあります。

- Work Performance score (ワークパフォーマンススコア): 仕事における成果や効率だけでなく、心身の状態が業務パフォーマンスにどのような影響を与えているかを数値化した指標です。
- プレゼンティーズム: 体調不良や強いストレスを抱えながらも出勤しており、十分に実力を発揮できていない状態を示します。生産性の損失割合を測る概念として用いられることが多いです。
- well-being score: 心身の健康だけでなく、生活全般の満足度や心理的安定感など総合的な幸福感を表す指標です。これら3つは一方だけでなく相互に関連して好循環を生む関係にあります。



vitality score | 医療専門家からのコメント

サーベイへのご協力、大変お疲れさまでした。今回の結果から見ると、Work Performance scoreは62.5%とまずまずの水準にあり、日々の業務には一定の集中力や成果が保たれていると考えられます。一方、well-beingは57.5%で、心身の調子が平均程度にある一方、さらに快適さを高める余地があるとも言えるでしょう。

最も注目すべきはプレゼンティーズムです。今回の数値(70%)は、平均値である84.9%を下回っています。これは労働生産性損失がやや大きい状態を示し、具体的には「100%-70%=30%」という損失割合が、一般的な目安(15.1%)を上回っています。つまり、何らかの軽い体調不良やストレス、あるいは生活リズムの乱れなどが、パフォーマンス低下の要因になっているかもしれません。

特に40代は、職場での責任が増したり、女性の場合はホルモンバランスの影響を受けやすいライフステージです。疲労やモチベーションの低下を早期に察知し、過度な運動や休息、栄養バランスの良い食事などを意識することが、長期的な労働パフォーマンスの向上につながります。また、社内の健康経営施策や周囲のサポート体制を活用しながら、自身の体調と仕事の進め方を再調整してみるのも有効でしょう。今回のサーベイ結果をきっかけに、小さな改善を継続して取り入れ、より生き生きと働ける日々を目指していただければ幸いです。応援しています。

Work Performance Score Feedback sheet

お名前: 小テスト花子様 実施日: 2025年01月06日
性別: 女性 所属: 株式会社〇〇
年齢: 40~44歳

性ホルモンチェック

- 今回毛髪から測定しているテストステロンの値はあなたの直近3ヶ月の平均値になります。
- 検査委託機関の調査及び研究に基づき、テストステロンレベルを評価しています。
- 医師の診断に代わるものではありません。

プロゲステロンレベル

6.7 pg/mg

プロゲステロンレベル

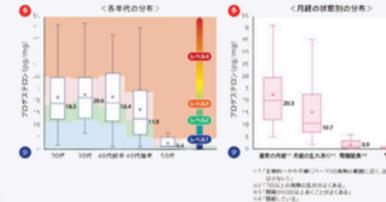
レベル3
(-)

女性ホルモンバランス

バランスが良い状態

性ホルモンの状態

テスト花子さん(40~44歳)の**女性ホルモン関連スコアは62.5%**となり、「50~70%=平均的な状態」に該当します。まず、この年代(35歳以上)の方の場合は、卵巣機能がゆるやかに変化していく準備段階に入りやすく、更年期に伴うさまざまな症状が少しずつ現れることがあります。更年期とは、閉経を挟んだ前後約10年の期間を指し、一般的に40代後半から50代



前半にかけて起こりやすいですが、個人差が大きいので、40代前半から体調の揺らぎを感じ始めるケースも見受けられます。テスト花子さんはまだ定期的な生理があるとのことですので、閉経後の「更年期不調」というほどではないものの、プレ更年期とも呼ばれる時期に入ってきている可能性があります。

今回のサーベイ回答では、生理中に頭痛や下腹部痛、腰痛、消化器症状などを感じるとのことでした。また、肩こりや疲れやすさ、気分の落ち込みが時々ある点も、ホルモンバランスの変化や年齢的なライフステージの負担が重なって表面化しやすい時期といえるでしょう。女性ホルモンスコアが平均的な数値だったとしても、年代特有の身体的・精神的な揺らぎが出る可能性は十分考えられます。さらに、BMIが17.6とやや低めであるため、栄養や体力の不足から疲労やホルモン分泌に影響が出る懸念もあるかもしれません。もし更年期に近づくにつれて不調が増すようなら、定期的に婦人科を受診し、必要に応じてホルモン補充療法やサプリメント、生活習慣の調整などを検討すると安心です。加えて、睡眠や休息をしっかり確保し、軽い運動やストレッチなどで血行を促進する習慣をつくと、体内リズムが整いやすくなり、結果的にホルモンバランスを維持しやすくなるでしょう。

女性更年期についてtips

女性更年期は、女性ホルモン減少による身体・精神両面の変化が特徴的です。個人差は大きいものの、適切な生活習慣の整備や必要に応じた医療的アプローチによって、多くの場合は症状の緩和やコントロールが期待できます。仕事や家庭環境の節目とも重なりやすいため、周囲のサポートや自分自身のケアを大切にしながら、更年期を前向きに乗り越えていくことが重要です。

主な特徴

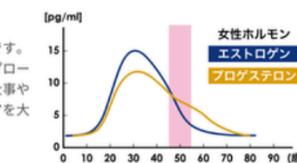
発症年齢: 一般的には40代後半から50代前半にかけて閉経の前後5年程度(計10年間)を更年期と呼ぶことが多いです。

原因: 女性ホルモン(エストロゲン、プロゲステロン)の分泌量が加齢によって低下することで起きます。

身体症状: のぼせ、ほてり、多汗、冷え、めまい、動悸、肩こり、腰痛、関節痛、疲労感、頻尿、肌や髪のトラブルなど。

精神症状: イライラ、不安感、落ち込み、集中力の低下、意欲減退、不眠など。ホルモン変化のほか、生活環境の変化(子育てや仕事上の節目など)も大きく影響する場合があります。

骨量・筋力の低下: エストロゲンは骨や筋肉の強度維持に関わるため、更年期に急激に減少すると骨粗しょう症や筋力低下を起しやすくなります。



従業員向けフィードバックシート：個人情報の取扱いと組織分析への活用について(1)

このフィードバックシートでは、健康状態や働き方、生活習慣などを多角的に分析し、個々人に役立つアドバイスや気づきをお伝えしています。一方で、組織全体としても「どの分野・どの年代で、どのような課題やリスクが潜在しているか」を把握する目的で、集計データをもとにした分析が行われます。その際、個人が特定されないよう配慮された形で情報を取り扱う点に、改めてご注意ください。

1. 個人情報の保護と匿名化

- 本シートには、ご本人の健康状態や生活習慣などの繊細な情報が含まれますが、第三者や他の従業員に共有される際はすべて匿名化・集計処理を実施し、個々の回答内容が分からない形に変換されます。
- 社内でデータを管理する部署は、厳格なセキュリティ基準のもとで保管・分析を行い、プライバシー保護に最大限配慮します。
- 個人情報に関する取り組みは弊社HPよりご確認ください（下記QRコードまたはURLリンクより）



2. 組織分析レポートへの反映

- 組織全体の傾向やリスクを把握するために、部署や年代ごとの平均値や比率などを集計・解析します。
- この際、たとえば「〇〇部署では運動不足スコアが高い」「女性の更年期指数が上昇している層が多い」などの傾向を示す統計的情報をまとめるのみで、どの個人がどのように回答したかは一切分からない仕組みです。
- 集計結果は、従業員のみなさまが働きやすい職場環境をつくるための具体的施策（休憩制度の見直し、メンタルヘルスケアの充実、福利厚生 の拡充など）を検討する材料として活用されます。

従業員向けフィードバックシート：個人情報の取扱いと組織分析への活用について(2)

このフィードバックシートでは、健康状態や働き方、生活習慣などを多角的に分析し、個々人に役立つアドバイスや気づきをお伝えしています。一方で、組織全体としても「どの分野・どの年代で、どのような課題やリスクが潜在しているか」を把握する目的で、集計データをもとにした分析が行われます。その際、個人が特定されないよう配慮された形で情報を取り扱う点に、改めてご注意ください。

3. 個人フィードバックとの違い

- 個人用のフィードバックシートはあくまで“ご本人にのみ”提供されるもので、ここには体調や生活習慣の詳細、必要に応じたアドバイスが含まれます。
- 一方、組織向けの分析では同様のデータを使いますが、集団単位（年代・部署・役職など）でまとめた統計情報に変換して利用します。これにより、個々人のプライバシーを確保しながら、全体像を把握することが可能になるわけです。

4. 安心して活用いただくために

- フィードバックシートの内容を個人が社内の誰かと共有するかどうかは、あくまでもご本人の自由です。もし相談や助言を求める際も、社内の保健師や産業医などの専門家に対し、必要最小限の情報だけを伝えることができます。
- 会社としては、従業員のみなさんの状態をよりよく理解し、健康面・働き方の両面で改善を進めるために、本取り組みを生かしたいと考えています。しかし、その根幹には「個人の意見や情報を尊重し、厳重に守る」という姿勢がありますので、どうぞ安心してご利用ください。

健康経営コンサル

企業が取り組む「従業員の健康管理・増進」や「生産性・モチベーション向上」「離職リスクの低減」といった施策を、経営戦略の一部として体系的に設計・運用を支援するサービスです。単に健康診断や福利厚生を充実させるだけでなく、企業の目指すビジョンや経営目標と連動させ、従業員一人ひとりがいきいきと働ける職場環境づくりを総合的にサポートします。

1. 現状分析・ヒアリング

経営者や人事担当者へのインタビューや、健康診断・ストレスチェックなどの既存データを踏まえ、どのような健康課題・組織課題があるのかを多角的に洗い出します。弊社SURVEYを併用し現状分析いただくことも可能です。

2. 具体的な施策設計・実装支援

「健康経営優良法人の認定取得」「従業員エンゲージメント向上」「更年期対策・女性特有の健康課題のフォロー」「メンタルヘルスケア」など、企業の状況やニーズに応じて最適な施策を組み合わせ、実行しやすい形で提案します。

3. 投資対効果（ROI）の最大化

コストやリソースを考慮しながら、優先的に取り組むべき対策を導入することで、投資対効果を高めることを目指します。施策の前後で従業員のパフォーマンスや離職率の変化を分析し、成果を見える化する仕組みもあわせて構築します。

4. 継続的なフォローアップとPDCA

導入後の定期モニタリングを通じて問題点を洗い出し、改善策を随時アップデート。健康経営優良法人の認定更新や、新たな社員ニーズに対応する施策を検討するなど、企業が長年にわたり健康経営を推進できるよう伴走します。

導入による3つのメリット

健康経営優良法人認定への近道

要件を確実にクリアできるよう専門家が伴走。書類作成から運用面のアドバイスまで行うことで、認定取得の成功率が格段に高まります。

人材定着・企業ブランディング強化

従業員の健康を真剣に考える企業姿勢が社内外へ伝わり、離職率低減や優秀な人材の確保にも寄与。取引先・顧客からの信用力向上にもつながります。

生産性と組織活力の向上

ストレス要因の除去や働きやすい職場環境の整備により、従業員が最大限のパフォーマンスを発揮。チーム全体の業績向上を後押しします。



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
ホワイト500



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
ブライト500



サービス導入フロー

現状分析・ヒアリング



プラン策定 & 提案



施策導入 & 実行サポート



評価・フォローアップ



1. 現状分析・ヒアリング

経営者・人事担当者へのインタビューや既存データ（健康診断結果、ストレスチェック等）を確認し、健康経営上の課題や組織状態を把握。現状の施策や制度の有無も確認し、ギャップを洗い出します。

2. プラン策定 & 提案

ヒアリング内容をもとに、健康経営優良法人認定を視野に入れた最適な施策プランを設計。具体的には、研修・セミナーの開催、禁煙対策、女性特有の健康課題対応、産業界との連携強化など、企業の状況に合わせて幅広いプランからご提案します。

3. 施策導入 & 実行サポート

提案内容に基づき、スケジュール管理や社内周知、研修講師手配など運用支援を実施。必要に応じて、SURVEYや性ホルモンチェック等も活用し、施策前後の効果測定を行います。

4. 評価・フォローアップ

導入後は定期的に評価を行い、PDCAサイクルで施策をアップデート。健康経営優良法人の取得・更新に向けた書類作成支援や、継続的な組織変革をサポートします。

健康経営セミナー

弊社が提供する健康経営セミナーは、企業が健康経営を推進するうえで必要となる知識・実践ノウハウを学べる研修サービスです。国や自治体の「健康経営優良法人」の認定要件で必須とされる研修テーマを中心に、従業員や管理職、経営層を対象としたセミナーを体系的にご提供。社内の健康リテラシーを高め、離職防止・生産性向上・企業ブランディングの強化といった健康経営の成果につなげることを目指します。さらに、弊社の講師は医療国家資格（医師・保健師・管理栄養士など）を有する専門家ばかり。最新の医療知見や現場経験に基づいた、実践的かつ説得力ある内容をお届けします。

医療国家資格を持つ専門家が講師

医師・保健師・管理栄養士・理学療法士・臨床心理士など、医療現場で実績を積んだ講師陣が、最新の医学的根拠や実践的ノウハウを分かりやすく伝えます。

健康経営優良法人に必要な研修テーマを網羅

「メンタルヘルス」「運動・栄養指導」「女性特有の健康課題」「両立支援」など、企業の現状や認定要件に合わせてカスタマイズ可能です。

多様な形式・スケジュールに対応

オンライン / 対面、単発 / 連続講座、ターゲット層（管理職向け・全従業員向け）の区分など、企業のニーズに合わせて形式/スケジュールプランを柔軟に組み立てます。



健康経営優良法人認定申請に必要なセミナー全項目をカバー

従来の認定要件に該当するテーマ

健康保持・増進に関する教育【認定要件】

- 1.メンタルヘルス
- 2.がんの予防
- 3.運動推奨
- 4.食生活・栄養
- 5.睡眠
- 6.偏頭痛・頭痛
- 7.肩こり・腰痛
- 8.目の健康（ドライアイ等）
- 9.歯と口の健康
- 10.メタボ対策
- 11.感染症対策
- 12.転倒予防
- 13.その他

新設の認定要件に該当するテーマもカバー

育児と就業の両立支援【新設・認定要件】

- 1.育児との両立に関する研修の実施
- 2.男性育休の取得を促すための管理職への研修

介護と就業の両立支援【新設・認定要件】

- 1.従業員に向けて介護リテラシーや両立に関する研修機会を設けている
- 2.管理職に向けて介護をしている従業員に対する両立支援に関する研修の機会を設けている

若年層からの健康意識の啓発【新設】

- 1.プレコンセプションケアについて、健康経営の一環として取り組みを実施しているか

医師、保健師、管理栄養士、理学療法士、臨床心理士など、医療系の国家資格を持つ専門家が講師を担当します。最新の医療情報や実務経験に基づき、受講者が明日からでも実践しやすい具体的なアドバイスを行いますので、信頼性の高いセミナーとして企業の健康経営レベルを着実に引き上げることが可能です。

導入による3つのメリット

健康経営優良法人認定に直結

必須項目とされる研修テーマをカバーすることで、認定要件を効率よくクリア。書類申請時にも実施証拠（セミナー実施報告）を提示しやすくなり、認定取得を後押しします。

従業員の健康リテラシー向上

専門家によるわかりやすい講義で、日々の生活習慣やストレス管理、病気予防などについて理解を深められます。意識改革が進むことで、離職率低減や生産性アップが期待できます。

組織としての健康経営戦略強化

管理職や人事担当者が健康経営を具体的に学ぶことで、部署横断の健康施策を推進しやすくなります。企業ブランディングや採用力向上にも効果を発揮します。



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
ホワイト500



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
ブライト500



サービス導入フロー

現状分析・ヒアリング



プログラム作成



セミナー実施



フォローアップ



1. ヒアリング・テーマ選定

企業の現状や認定申請における不足分、従業員ニーズなどを確認し、最適なセミナーテーマを選択。

既存要件だけでなく、新設要件（育児・介護の両立支援など）にも対応可能です。

2. プログラム作成・講師アサイン

ヒ講義内容のカリキュラムを作成し、医療国家資格を持つ専門家を担当講師としてアサイン。

オンライン / 対面開催、回数・時間帯などを企業の状況に合わせて調整します。

3. セミナー実施（テーマ一例）

- ・メンタルヘルスやストレスマネジメント
 - ・がん予防 / 生活習慣病対策 / 運動・栄養指導
 - ・更年期 / 育児・介護との両立支援 / 女性特有の健康課題 など
- 管理職・一般従業員それぞれに合わせた内容やワークショップ形式も可能。

4. レポート提出・フォローアップ

セミナー後、参加者アンケートや受講レポートをまとめて企業に提出。必要に応じて追加セミナーやコンサルとの連携を行い、健康経営全体の施策を補完します。

よくあるご質問

QUESTION

よくあるご質問 | 性ホルモンチェック

Q1. この検査は女性だけが対象でしょうか？

A. いいえ、女性・男性を問わずご利用いただけます。

更年期やPMSといった女性特有の症状はもちろん、男性の加齢性ホルモン低下（LOH症候群）やストレス過多など、あらゆる働く人に起こりうるホルモンバランスの乱れを早期発見することが目的です。

Q2. どのように検体を採取するのですか？

A. 基本的には毛髪をカットして郵送いただく方式です。

検査キットに毛髪の採取方法や必要数などが記載されていますので、簡単な手順で自宅や職場で準備し、同封の返信用封筒でお送りいただけます。

Q3. プライバシーはどのように守られますか？

A. 個人情報は厳重に管理し、検査結果は本人または企業担当者（※企業契約の場合は匿名集計）へのみ返却いたします。

企業導入の場合も、個人が特定できる情報を他の従業員や上司が直接閲覧することはありません。組織分析レポートは匿名化された集計データのみを使用します。

Q4. 検査結果はどのくらいでわかりますか？

A. おおむね3～4週間程度で結果をお返ししています。

集配状況や検査機関の混雑具合により多少前後する場合がありますが、検体が到着してから結果送付までの目安は3～4週間です。

その他、Q&Aはオフィシャルホームページに掲載しております。

よくあるご質問 | WP_SURVEY

Q1. どのくらい的人数から導入できますか？

A. 数名規模の小さな組織から数千名を超える大規模企業まで、幅広く対応可能です。企業ごとに設問数や分析範囲を調整し、最適な形でご提供いたします。

Q2. どのように回答を集めるのですか？

A. オンラインでの回答フォームを使い、従業員の方々がPCやスマホ、タブレットなどから匿名で回答します。回答期間を設定したうえでリマインドメールを送るなど、回答率を高める施策もあわせてご提案可能です。

Q3. 社員が回答を拒否・スキップすることはできますか？

A. はい、基本的には従業員の任意回答となります。ただし、サーベイの目的やメリットを周知し、安心して回答してもらえる環境を整えることで、より高い回答率と精度の高い結果が得られます。

Q4. サーベイの設問内容はカスタマイズできますか？

A. はい、可能です。標準テンプレートをベースにしながら、企業特有の課題や知りたい項目に合わせて設問を追加・調整できます。また、調査範囲や設問数によって分析結果の深さが変わります。

その他、Q&Aはオフィシャルホームページに掲載しております。

よくあるご質問 | 健康経営コンサル

Q1. 通常の福利厚生との違いは何ですか？

A. 福利厚生は、主に従業員の生活面をサポートする仕組みや制度を指します。一方、健康経営は経営戦略として従業員の健康を捉え、投資対効果（ROI）を重視した施策を行う点が大きな違いです。

健康経営の考え方では、健康診断や保健指導だけでなく、メンタルヘルスケアや職場環境改善などを一体的に進めることで、企業の成長と従業員の健康を両立させます。

Q2. 健康経営優良法人とは何ですか？

A. 経済産業省などが推進する「健康経営優良法人認定制度」によって、従業員の健康管理に積極的に取り組む優良企業が認定されるものです。認定を受けることで企業イメージの向上や採用力強化に繋がり、取引先や地域社会からの信頼度アップも期待できます。

Q3. 料金プランはどのように設定されていますか？

A. 基本的には、サービス内容や企業規模（従業員数）、導入範囲（全員 or 一部従業員）などによって変動するカスタマイズ型の料金プランを採用しています。例えば、シンプルプラン：サーベイや簡易分析のみ、スタンダードプラン：専門家によるアドバイス（課題分析・計画立案など）、プレミアムプラン：フルサポート（スタンダードプランに加え、セミナー提供、申請書類支援など）、といった形で段階的に分かれています。

Q4. コンサルやセミナーだけを単発で依頼することもできますか？

A. 可能です。セミナー単発プランやコンサル1回完結プランをご用意しています。トータルで支援したほうが企業内の健康経営プロセスを体系的にカバーできるため、結果的に投資対効果が高くなるケースが多いです。

その他、Q&Aはオフィシャルホームページに掲載しております。

よくあるご質問 | 健康経営セミナー

Q1. 人数が多い（または少ない）場合でも対応可能でしょうか？

A. はい、少人数から数百名規模まで対応可能です。大規模受講の場合には、オンラインや複数回に分けた開催などで、効率よく受講者全員が学べるようにいたします。

Q2. 対面セミナーの場合、準備や会場手配はどのようになりますか？

A. 基本的には、企業様にて会場をご用意いただきます。音響設備やプロジェクターなどの機材が必要な場合は事前にご案内いたします。オンラインの場合は、弊社が提供するビデオ会議システムや、企業様の指定ツールを使う形で進めるのが一般的です。

Q3. テーマを一部だけ選ぶことは可能ですか？ すべて受講しなければならないのでしょうか？

A. 必要なテーマだけ選んで受講いただけます。たとえば「メンタルヘルス」「がん予防」「育児と就業の両立支援」など、企業が重点を置きたい項目から優先的に実施する形で構いません。認定要件に合わせてバランスよく設定することをおすすめしています。

Q4. セミナー後にフォローアップや質問対応はありますか？

A. はい、可能です。セミナー後には受講者アンケートを実施し、結果や質問内容をまとめたフォローレポートを提出するほか、個別相談を設定することもできます。継続的な健康経営支援や追加の研修・コンサルも承ります。

その他、Q&Aはオフィシャルホームページに掲載しております。

お問い合わせ

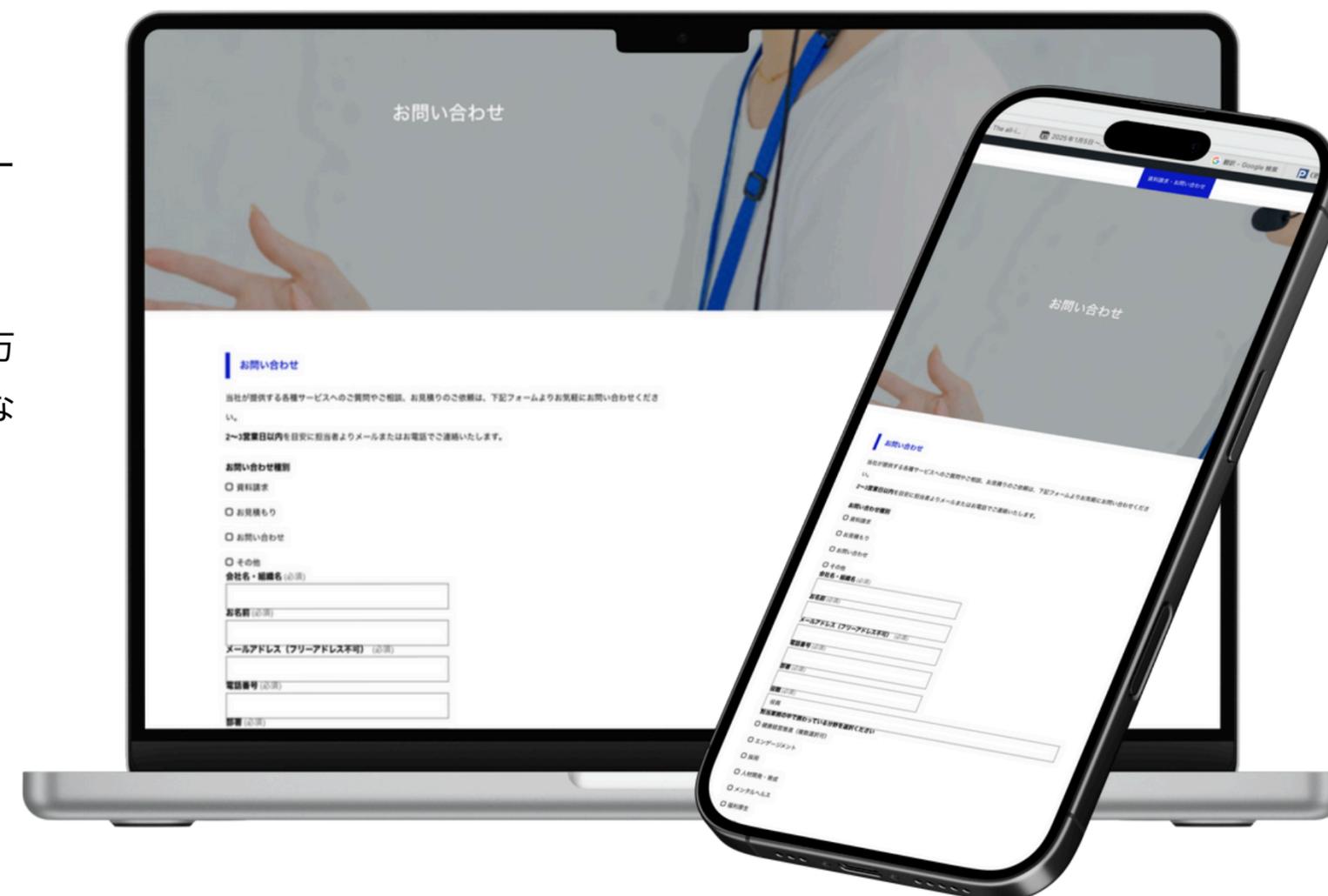
INQUIRY

資料請求・お問い合わせ

当社が提供する各種サービスへのご質問やご相談、お見積りのご依頼は、下記フォームよりお気軽にお問い合わせください。
2~3営業日以内を目安に担当者よりメールまたはお電話でご連絡いたします。

【注意事項・プライバシー保護】

- ご入力いただいた個人情報は、お問い合わせ対応および当社サービスのご案内目的以外には使用いたしません。
- 詳しくは、プライバシーポリシーにてご確認ください。
- 送信後に内容確認の自動返信メールをお送りしておりますが、万が一届かない場合は、メールアドレスの入力間違いや受信設定などをご確認のうえ、お手数ですが再度お問い合わせください。





資料請求・お問い合わせ

弊社オフィシャルホームページ上でもサービス内容のご紹介をしております。

資料ご請求・お問い合わせ・お見積もり依頼などはHPよりお申し込みいただけます。

右記QRコードまたは下記URLリンクよりご覧いただけます。

<https://sustainableme.co.jp>



無料相談会実施中

サービスに関するご質問やお見積もりなど専任スタッフがオンラインでご説明いたします。

カジュアルな相談のみでも可能ですので、ぜひお気軽にお申し込みください。

右記QRコードまたは下記URLリンクより30分オンラインご面談をご予約いただけます。

https://timerex.net/s/info_411d_0d71/08cb627f/

